

バージョンアップリリースノート

Flowmon Packet Investigator

注：VerUP 時には再起動、及びファイルチェックが行われる場合があります。

Flowmon Packet Investigator は Flowmon Packet Investigator プロブ/コレクタの 2 種類があり、FPI ver11.1.x より前のリリースノートでは内容を分けて記載していましたが、ver11.1.x 以降のリリースノートはプロブ/コレクタの内容を統一して記載をしています。Ver11.1.x より前のバージョンのリリースノートは本書の Flowmon Packet Investigator Probe 及び Flowmon Packet Investigator Collector の章をご参照ください。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver. 12.01.00	2023/04/04	重要な情報
		H323 フィルタはサポートされなくなりました。バージョン 12.1 をインストールする前に、H323 フィルターを使用しているすべての記録を停止するか、完了するのを待ちます。
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例: Flowmon Packet Investigator 11 では、11.0.x での設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 11.1.y と互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の 11.1.x から出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 12.0.y と互換性があります。
		修正された問題
		/limd.api/interception-requests/createZip におけるバストラバーサルの脆弱性が修正されました。
		すべての記録をマークするチェックボックスが、「記録」ページで誤って記録としてカウントされることがなくなりました。
		SIP フィルターでパケットキャプチャを有効にしている場合、モニタリングポートに障害が発生しなくなりました。
		既知の問題
		NTP トラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。
Flowmon Packet Investigator 12.01.00 は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態出荷されています。		
Ver. 12.00.01	2022/05/10	重要な情報
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例: Flowmon Packet Investigator 11 では、11.0.x での設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 11.1.y と互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の 11.1.x から出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 12.0.y と互換性があります。
		修正された問題
		Flowmon Packet Investigator Probe は Flowmon Probe 200000 Pro のアプライアンスに対応しました。
		既知の問題
		NTP トラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。
Flowmon Packet Investigator 12.00.01 は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態出荷されています。		
Ver. 12.00.00	2022/03/02	重要な情報
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。

Ver.No	リリース日	追加機能
		<p>メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。</p> <p>例: Flowmon Packet Investigator 11 では、11.0.x での設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 11.1.y と互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の 11.1.x から出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 12.0.y と互換性があります。</p> <p>追加機能</p> <p>Flowmon OS 12.0 に対応しました。</p> <p>PHP がバージョン 7.4 に更新されました。</p> <p>修正された問題</p> <p>Flowmon Packet Investigator をインストールしても、Flowmon Configuration Center - システム設定で syslog サーバの操作に支障をきたさないようになりました。</p> <p>既知の問題</p> <p>NTP トラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィクスリリースで解決される予定です。</p> <p>Flowmon Packet Investigator 12.00.00 は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でお届けされています。</p>
Ver.11.01.01	2021/09/06	<p>重要な情報</p> <p>出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。</p> <p>メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。</p> <p>例: Flowmon Packet Investigator 11 では、11.0.x での設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 11.1.y と互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の 11.1.x から出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 12.0.y と互換性があります。</p> <p>Kemp Flowmon Packet Investigator 11.01.01 からは、Kemp Technologies, Inc. が提供する他の製品やコンテンツに合わせて、新しい配色とロゴを使用しています。</p> <p>修正された問題</p> <p>新しい記録を開始するときのパフォーマンスが改善されました。</p> <p>既存の記録が多数存在していても、新規記録の API 応答時間に悪影響を及ぼさなくなりました。</p> <p>空データの記録において失敗した分析は、正常に完了したと表示されるのではなく、失敗したと正しく表示されるようになりました。</p> <p>1024MB 以上の適応バッファサイズは、Kemp Flowmon Packet Investigator Probe によって正常に処理されるようになりました。</p> <p>1 つの記録のなかに多数の分析結果が存在していても、記録一覧のレイアウトが崩れなくなりました。</p> <p>既知の問題</p> <p>Kemp Flowmon Packet Investigator 11.01.01 は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でお届けされています。この翻訳は、次のバグ修正バージョンで更新される予定です。</p> <p>警告</p> <p>Kemp Flowmon Packet Investigator 11.1.1 は、Kemp Flowmon 11.1.7 以降とのみ互換性があります。Kemp Flowmon Packet Investigator のアップデートを行う前に、お使いの Kemp Flowmon をアップデートしてください。</p>
Ver.11.01.0	2021/05/24	<p>重要な情報</p> <p>出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。</p> <p>メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。</p> <p>例: Flowmon Packet Investigator 11 では、11.0.x での設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 11.1.y と互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の 11.1.x から出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである 12.0.y と互換性があります。</p> <p>追加機能</p> <p>Flowmon Packet Investigator の Web インターフェースが更新されました。</p>

Ver.No	リリース日	追加機能
		<p>総合的な目標は、不要な情報を減らし、実用的な機能性を強調し、より多くの記録を扱う際の応答性を向上させることです。</p> <p>Flowmon Packet Investigator の解析機能が拡張され、ARP、ICMP、NTP のプロトコルがサポート可能となりました。</p> <p>また、これらの汎用プロトコルに加えて IoT 特有のプロトコルである CoAP、IEC104、GOOSE、MMS、MQTT も追加されました。これらすべてのプロトコルは、Flowmon Packet Investigator で作成した PCAP、または同製品以外で作成した PCAP をアップロードした場合の解析に適用することができます。</p>
		<p>修正された問題</p> <p>コレクターアプライアンスで管理インターフェースの IP 設定を変更した後、録画が空になる問題は解決されました。詳細については、以下の警告のセクションを参照してください。</p> <p>2020 年下半年以降に製造された Flowmon Probe 40000 アプライアンスのモニタリングポートにおける適応バッファ構成の問題は解決されました。</p> <p>Mellanox の NIC を搭載した Flowmon Probe 200000 Pro の問題は解決されました。</p> <p>Flowmon Packet Investigator Probe は、11.1.0 Beta リリースからは、同アプライアンスと完全な互換性があります。</p>
		<p>既知の不具合</p> <p>Flowmon Packet Investigator 11.1.0 Beta は、製品内の日本語版ユーザーガイドが古いバージョンで出荷されています。この翻訳は、安定版のリリース前に更新される予定です。</p>
		<p>警告</p> <p>Flowmon Packet Investigator 11.1.0 Beta より、FPI コレクタは、FPI プローブとの通信に使用される優先的なローカル制御ポート IP アドレスを明示的に設定するオプションがなくなりました。FPI コレクタと FPI プローブ間の通信の問題を回避するために、特定の FPI コレクタと通信するすべての FPI プローブに特定の FPI コレクタの制御ポート IP アドレスが設定されており、FPI プローブの制御ポートとデータ収集ポートの値が FPI コレクタで設定された値と一致していることを確認してください。この警告は、カスタムポート構成のアプライアンスにのみ適用されます。デフォルトの制御ポートとデータ収集ポートの値で構成された FPI コレクタと FPI プローブは、影響を受けません。</p> <p>Flowmon Packet Investigator 11.1.0 Beta より、コレクタは削除されたファイルを繰り返し上書きすることによって、記録からデータを削除することがなくなりました。この変更により、使用率の高い HDD を持つコレクタや仮想コレクタで大規模な記録を処理する際のパフォーマンスが大幅に向上します。また、SSD を搭載したコレクタでは、書き込み増幅の影響が大幅に軽減され、ディスクの消費が少なくなります。</p>

Flowmon Packet Investigator Probe

注：VerUP 時には再起動、及びファイルチェックが行われる場合があります。

Flowmon Packet Investigator は Flowmon Packet Investigator プロブ/コレクタの 2 種類があり、本項目では Flowmon Packet Investigator プロブについて記載をしています。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver.11.00.03	2020/07/20	修正された問題
		Flowmon Traffic Recorder から Flowmon Packet Investigator へアップグレード時に Flowmon Configuration Center 内で表示されていた誤った製品名を修正しました。
Ver.11.00.01	2020/06/05	FPI コンフィグレーションオプションの名前が Configuration Center でモニタリングポートと一致するように変更しました。
Ver.11.00.00	2020/04/21	重要な情報
		Flowmon Packet Investigator Probe ver11 は、Flowmon OS ver.11.00.00 以上と互換性があります。
Ver. 10.02.02	2020/01/20	修正された問題
		100G プロブでの適応バッファサイズ選択の問題を修正しました。
Ver.10.02.01	2019/09/04	修正された問題
		時折発生するメモリリークを修正しました。
Ver.10.02.00	2019/06/14	重要な情報
		このバージョンは、Flowmon OS ver.10.02.00 以上と互換性があります。
Ver.10.01.03	2019/09/04	時折発生するメモリリークを修正しました。
Ver.10.01.02	2019/06/13	修正された問題
		コンフィグレーションのインポート、エクスポートを修正しました。
Ver.10.01.01		追加機能
		適応バッファサイズを選択を使用しやすいように変更しました。
		修正された問題
		H.323 フィルタリングを有効にすると、プロブがクラッシュする問題を修正しました。 プロブメモリの使用量が増加してしまう問題を修正しました。
Ver. 10.01.00	2019/02/12	重要な情報
		このバージョンは、FTR コレクタの ver.10.01.00 以上と互換性があります。
Ver.10.00.03	2019/04/15	修正された問題
		IP およびポートルールの中に「not」タームの問題を修正しました。
		重要な情報
		このバージョンは、FTR コレクタの ver.10.00.02 以上と互換性があります。
Ver.10.00.02		修正された問題
		IP およびポートルールの「not」用語の問題を修正しました。
		H.323 フィルタリングを有効にすると、プロブがクラッシュする問題を修正しました。 プロブメモリの使用量が増加してしまう問題を修正しました。
		重要な情報
Ver.10.00.01		このバージョンは、FTR コレクタの ver.10.00.02 以上と互換性があります。
		修正された問題
		ADS イベントレポートによってトリガーされるトラフィックの記録は、Ver.10.00.xx では使用できません。 ※この機能は Ver.10.01.xx 以降で再び利用可能になります。
		修正された問題
Ver.10.00.00	2018/10/11	FTR コレクタと FTR プロブが同一筐体でインストールすると、FTR プロブからのパケットが失われる問題を修正しました。
		修正された問題
		「グローバル設定のみ使用」を「ON」にすると、「開始済み」が適切に動作しない問題を修正しました。 GUI デザインの問題を修正しました。 L2 および H.323 のルールコンビネーションを修正しました。
		重要な情報
Ver.10.00.00	2018/10/11	このバージョンは、FTR コレクタの ver.10.00.00 以上と互換性があります。
		追加機能
		「レコダ」のタブが「コンフィグレーションセンター」の「モニタリングポート」に移動しました。 ローリングメモリバッファは、指定された最初のフローの数パケットを保存できるようになりました。これらのフローの記録はその後開始されます。 ICMP トラフィックをキャプチャする機能を追加しました。

※Ver.6 以前の内容については別途お問い合わせください。

バージョンアップリリースノート

Flowmon Packet Investigator Collector

注：VerUP 時には再起動、及びファイルチェックが行われる場合があります。

Flowmon Packet Investigator は Flowmon Packet Investigator プローブ/コレクタの 2 種類があり、本項目では Flowmon Packet Investigator コレクタについて記載をしています。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver.11.00.04	2020/07/20	修正された問題
		12TB 以上のストレージを持つコレクタが PCAP 解析を実行できない問題を修正しました。
		データベースの切断によりユーザーが解析を実行できない問題を修正しました。
Ver.11.00.02	2020/06/05	追加機能
		大量の DNS クエリがある場合、PCAP 分析は DNS 診断の粒度を下げて高速に処理できるように改善しました。
		修正された問題
		スプリットモードで「すべてのプローブに対し単一のファイル」オプションを選択した場合、PCAP 解析ができない問題を修正しました。
Ver.11.00.01	2020/04/28	追加機能
		「中断済み」の記録が解析できるようになりました。
		修正された問題
		Ver10 からのアップグレードした際に発生する、「記録」機能に関する問題を修正しました。
		Flowmon ADS でキャプチャした PCAP が Flowmon ADS の「イベント証跡」からダウンロードできない問題を修正しました。
Ver.11.00.00	2020/04/21	診断エンジンのいくつかの問題を修正しました。
		重要な情報
		- Flowmon Packet Investigator は Flowmon Traffic Recorder の後継製品であり、トラフィック分析の新機能を提供します。
		- トラフィック解析はライセンスアップグレード後に利用できます。
		※アップグレードについては、Flowmon サポートまでお問い合わせください。
		- Flowmon Packet Investigator のアップグレードライセンスをお持ちでないお客様は、Flowmon Packet Investigator にアップデート後も Flowmon Traffic Recorder として利用できます。
		また保守サポートも引き続き有効となります。
		- Flowmon Packet Investigator Collector ver11 は、Flowmon OS ver.11.00.00 以上と互換性があります。
		追加機能
		トラフィック解析機能を追加しました。
- Flowmon Packet Investigator モジュールでは、最も一般的に使用されているネットワークプロトコルの解析を提供するようになりました。その結果、運用上の問題の検出/ネットワークのトラブルシューティングを支援します。		
- 解析結果は、パケットデータの各イベントの詳細情報をイベントツリーの形で可視化し、問題の説明と改善策の提案を行います。		
- サポートされているプロトコルは DHCP、DNS、FTP、IMAP、IMF、POP、SIP、SLAAC、SMB、SMTP、IP、TCP、SSL、HTTP です。		
- 詳細については、ユーザーガイドの第 6.7 章 トラフィック解析をご参照ください。		
PCAP ファイルのアップロード機能を追加しました。		
- 外部ソースからのトラフィック記録（PCAP 形式）を Flowmon Packet Investigator にアップロードすることができます。		
- アップロードした PCAP は「記録」画面に表示され、FPI でキャプチャしたものと同様に解析ができます。		
既知の不具合		
Flowmon ADS でキャプチャした PCAP は、Flowmon ADS の「イベント証跡」からダウンロードができません。キャプチャした PCAP は、Flowmon Packet Investigator からダウンロードすることができます。		

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver.10.02.01	2020/01/20	修正された問題
		Flowmon ADS がイベント検出に基づいた記録の作成に失敗する問題を修正しました。
		Traffic Recorder のクリーンインストールでクォータの問題を修正しました。
		記録が多い場合の記録リストの読み込みと更新時間を修正しました。
Ver.10.02.00	2019/08/30	重要な情報
		このバージョンは、FTR プローブの ver.10.01.00 以上と互換性があります。
		追加機能
		「コンフィグレーションセンター」>「FTR 設定」>「グループ」のタブで「グループ ID」を追加しました。 ※グループ ID は Flowmon ADS と連携する時に使われます。
		REST API が拡張されました。 ※バージョンチェックのためのエンドポイントが追加されました。 ※ユーザーグループのための「API call」が記録を作成する許可に関する情報を返せるようになりました。
		グループのクォータが少なくなった場合、「警告」のメッセージが表示されるようになりました。
		修正された問題
		MPS パートナー用：GUI メインのロゴと色のテーマを変更できるようになりました。 インポートされた構成に応じて FTR グループクォータが変更されない問題を修正しました。 クォータが少なくなった場合でも、パケットキャプチャを実行してしまう問題を修正しました。
Ver.10.01.05	2019/08/13	重要な情報
		このバージョンは、FTR プローブの ver.10.01.00 以上と互換性があります。
		修正された問題
		FTR クォータを超えたとき、データを削除する問題を修正しました。 admin ロールが PCAP をダウンロードできない問題を修正しました。
Ver.10.01.04	2019/07/16	重要な情報
		このバージョンは、FTR プローブの ver.10.01.00 以上と互換性があります。
		追加機能
		ローカルストレージの設定を改善しました。 ユーザーは複数の FTR グループに参加できるようになりました。
		修正された問題
ローカルストレージの設定の問題を修正しました。 新ユーザーが LDAP を使用して、Flowmon にログインする際の問題を修正しました。		
Ver.10.01.00	2019/02/12	重要な情報
		このバージョンは、FTR プローブの ver.10.01.00 以上と互換性があります。
		修正された問題
「待機中」状態の時の開始ボタンを修正しました。		
Ver.10.00.04	2019/04/16	修正された問題
		ローカルストレージの設定を修正しました。
Ver.10.00.03		修正された問題
		構成のインポート/エクスポートを修正しました。
Ver10.00.02		重要な情報
		このバージョンは、FTR プローブ Ver.10.00.02 以降と互換性があります。 ADS イベントレポートによってトリガーされるトラフィックの記録は、Ver.10.00.xx では使用できません。 この機能は Ver.10.01 以降で再び利用可能になります。
		修正された問題
		FTR プローブの適応バッファからのパケットが失われる問題を修正しました。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver.10.00.01		デフォルトでトラフィックを単一の PCAP ファイルにマージするオプションを再導入しました。
		修正された問題
		FTR グループの可視性を修正しました。
Ver.10.00.00	2018/10/11	重要な情報
		このバージョンは、FTR プロブ Ver.10.00.00 以降と互換性があります。
		既に進行中の最初のフローのいくつかのパケットを記録する機能が追加されました。
		直感的な文法で記録ルールを記述できるようになりました。
		FTR コレクタと Flowmon コレクタ・プロブのコンフィグレーションの構成が簡素化されるようになりました。

※Ver.6 以前の内容については別途お問い合わせください。